

療養環境サポーター活動報告

この活動報告は、人権センターが検討協議会(※)事務局に提出した療養環境サポーター活動報告書に、訪問した病院からの訂正申し入れや意見等を反映し、更にこれらをもとにした検討協議会での検討内容を踏まえたものを要約しています。

※検討協議会とは「大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会」のことで、(貝塚サナトリウムについて検討した平成21年度時点で府下13機関及び学識経験者1名で構成されていました。)

貝塚サナトリウム

(平成 22 年 4 月 26 日訪問)

平均在院日数 366.6 日(平成 22 年 3 月 31 日時点)

病院全体

中庭は広く、売店や自動販売機コーナーやベンチがあり、患者が散歩や買物をしていました。入院病棟は平成 14 年、19 年に建替えられ、廊下やデイルーム、病室等全体的に広々としていた。中庭に面した窓や廊下の突き当たり大きな窓をつくるなど採光の工夫がされていた。

平成 21 年に西成区に診療所とデイケアを開設し、地域との連携がとりやすくなり、大阪市内からの入退院に対応しやすくなった。また高齢者の割合が増えているので、介護の人手を増やしている、車椅子での散歩なども心掛けていたとのことだった。

前回の訪問(平成 18 年 8 月)から
改善されていたこと等

全てのベッドサイドにカーテンが設置されていた。公衆電話での話しやすさ(個室に設置)や分煙は建て直しにより実現し、アルコール依存症患者へのプログラムも週2回の集団ミーティングが実施されていた。

意見箱

どのような意見が出されているのかのファイルを見せて下さった。たくさんの投書があり、意見箱が活用されていることがうかがわれた。食事についての意見が多かった。特別メニューは意見箱の投書により導入されたサービスのようだ。少数だったが、職員の言葉遣いについての意見もあった。それを受止めて資質向上に努める旨の回答がされていた。

退院支援(病院側の説明)

大阪市からの生活保護の患者の入院は 3 ヶ月以内なら住む場も残っているので、短期で退院してもら

えばいい。西成には連携をとっている業者もある。長期在院患者の退院は難しいが、退院促進事業の対象となる。平成 20、21 年度には 5 年以上入院している患者が年間 5%以上(8~9 名)ずつ退院できたので精神科地域移行実施加算をとることができた。退院促進事業を使った年間 5~6 名の退院も含まれる。本人からの退院希望が少ない中、退院に消極的な患者に対して、外出をすすめ、外出の癖をつけてもらう為の支援はケースワーカーだけでは時間がとれず、外の協力を得ないとなかなか難しい。今年度も基準を満たせるように退院支援を行いたい。市営住宅を使ってグループホームを開設する予定がある。

各種管理手数料

月額 5,850 円(生活保護の場合は 4,050 円)。同意書には「各種管理」の内容について、「生保から国保等へ切り替える一連の手続き、障害年金受給の手続き、介護保険認定の申請手続き、福祉事務所より入金された日用品費の仕訳作業、院用衣料の貸し出し、保険証等の保管および管理、家賃の振り込み手続きおよび家主との折衝、アパートの解約手続き、金融機関からの出金業務、外診の送迎および付き添い(遠近により別途手数料がかかります)、外診先の手配、散髪等(実施場所の提供)、高齢者インフルエンザの予防接種の事務手続き、その他医療以外のサービス」と書かれていた。金銭が病院管理の場合、週 1 回、決まった曜日にその病棟の担当 PSW から渡される。額はその前日に申請する。

病室

全ての部屋にナースコール、ベッド毎にカーテンがあった。床頭台にはロッカー、鍵のかかる引出しがついていた。いくつかの病棟で 2,000~5,000 円の個室や 2 人部屋が有。浴室付きの部屋があった。

電話

病棟 I では壁面がへこんだところに設置され、病棟 II では扉付きの広めの個室になっていて、どちらも詰所から離れていた。テレホンカードは殆どが自己管理のようだった。中庭で携帯電話を使用している人によると「充電は部屋でしている。コンセント使用料金は、月 1,000 円」とのことで、「携帯電話は、プライバシーに配慮し、カメラでの撮影はご遠慮下さい」との掲示があった。

トイレ

障害者用トイレもあった。清潔に保たれていた。

隔離室

病棟 I には風病棟と碧病棟に 6 室ずつ、病棟 II は星病棟以外に 2 室ずつある。

病棟 I では詰所から廊下を挟んだ向かい側にある。廊下の扉から一步入ると 1 畳ほどの前室があった。洗面台、筆筒、小窓等があった。小窓は身を乗り出して覗き込むとトイレあたりが見える。前室突き当たりの厚い扉の向こうが隔離室になっていた。扉の

横は透明の亚克力板になっていた。室内は木目調でやわらかい素材の壁にはナースコールのボタンがあった。大きな窓の下半分は刷りガラスで、上半分は透明になっていて空が見えた。トイレは洋式で外から見えにくくなっていた。水洗は外からのみだった。

患者からは「入室時、時計がなくて時間がわからなかった」との声があった。時計やカレンダーは前室の壁の高い位置にあったが、ベッドからは見えない位置だった。職員の話では「時計が見たいと言われたら、透明の亚克力板の近くに置くことができる」との説明だが、普段から見やすい位置に置けるのではないかと意見交換した。

窓は鍵を使って大きく開くようになっており、掃除をする時に開ける。においなどはしなかった。監視カメラを設置せず、看護職員が様子を見に来ている。開放度が4段階に分けられ、掲示されていた。(Iは完全隔離、IIは適時開放(洗面、入浴、喫煙、食事)、IIIは日中開放(6:00~17:00)、IVは就寝前開放(6:00~21:00))。

病棟Ⅱの月病棟は2室とも使用中だった。

掲示物

メニューや患者の権利宣言が掲示してあった。月毎に違う「特別メニュー」のカラー写真のが掲示されていた。

風病棟 40床 男性 閉鎖

精神科急性期治療疾患病棟

任意入院31名、医療保護入院3名。薬は看護師が各部屋に行き配っているようだ。病棟担当とサブの医師がいる。月11~21名入院があるため、氏名まちがいをしないように気を配っているとのこと。服薬は退院1ヶ月前より自己管理の方向でかわるようだ。3ヶ月で退院していくのが9割以上。平均年齢が54.8歳で中高年の方が多い。夜間徘徊がある方もおられ、夜間のみ隔離室の利用もある。

デイルームではテレビを見る人、将棋をうつ人、将棋の様子を見る人と、ゆっくりした雰囲気だった。中庭が喫煙所になっており、そこで喫煙する方もいた。

患者の声

「病室は窓とベッド側と廊下側にカーテンがあって落着ける」「暇やから、テレビ見るか煙草を吸うか、デイルームでゆっくりしている」「作業療法で映画を見た」西成区から入院した3名は「入院時のことは覚えていない」。

隔離室について「訳がわからんうちに入っていた。特にこれといった印象はない」「よく眠れた。日が当たって気持ちよかった。主治医はよく話を聞いてくれた」「10日間入っていた、医師の診察は2回位あった」「室内にナースコールがあることは知らなかった」

「出して欲しいと言っても看護師は答えてくれないので、言っても無駄だと思った。ナースコールの場所が分からなかった。もっと看護師に見回りに来てもらいたかった」

碧病棟 50床 男女 閉鎖 精神シルバー対応病棟

任意入院34名は開放処遇、2名は医療保護入院。女性の入院病棟、風病棟から来た患者、この病棟から退院する患者、療養病棟へ転棟する患者、長期在院の患者、個室希望者などいろいろな患者がいるという意味での大変さがあるとのことだ。外出、外泊も多い。

オープンカウンターの詰所前にデイルームがあり、患者は看護師と塗り絵をしたり、テレビや新聞を見ていた。全体的に静かで、多くの患者は中庭や作業療法に出ているようだった。患者同士の会話もあまりなく、話しかけても避けるように離れる人が多かった。喫煙室はウッドデッキのようになっていて、冬は寒いかもしれない。

患者の声

「入院して間もない。看護師は丁寧だと思う。困っていることなどない」「外出するときは職員に頼んで個室の鍵を閉めておいてもらう」「家族が面会に来るのが楽しみ」「退院して家族と一緒に暮らすのが楽しみ。親も子どもも待ってくれている」「たばこは自分で管理している」「テレホンカードは自分で持っている。お金は毎週、ケースワーカーが持って来てくれる」「お風呂は週に2回」「週に5,000円ずつ受け取っている」「アルコール依存症で3ヶ月前に入院、個室、1ヶ月12万円かかり自分の年金で足りない分は子どもが出してくれる。外出して自動販売機の前で悩むが今までは飲酒せず。まだ自信が無いので入院しておく。ここはいいとこです。家族の見舞が毎週あり洗濯物を持って帰る。外出から帰ると身体検査がある。」「タバコは自分で管理している。なるべく吸わないように、1時間に1本と指導されているが自由に吸っている」

月病棟 60床 男女 閉鎖 精神慢性期対応病棟

任意入院51名、医療保護入院6名。長期在院者が多い。中庭、作業療法、院外への散歩や買物などにしょっちゅう出る人と殆ど出たがらない人がいる。薬の自己管理などで退院の準備をしている。半数ほどが自己管理。この病棟からは月1~2名ほどが退院する。退院促進事業利用者もいる。

たくさんの患者が作業療法から集団で帰ってくるとデイルームや喫煙ルーム等がにぎやかになった。

患者の声

「ここがいい」「本を買うために外出するのが楽しみ」「長く入院している。親は年老いている。僕は退

院できるのでしょうか」「多くの患者は金曜日にお金を受け取っている。列ができる。ケースワーカーがデイルームに持って来る」「ケースワーカーにはお金のことを相談できる」「週に 4,000 円ずつ受け取る」「診察室は詰所内にあり、週 1 回、医師とは何でも話せる。担当 PSW の名前も知っている」

星病棟 60 床 男女 閉鎖 メンタルケア対応病棟

殆どが任意入院。病室の窓からは山が見え、見晴らしがよかった。浴室の付いた特別室 5,000 円/日。トイレ付き 2 人部屋は 2,000 円/日。音楽がなり、デイルームで体操を、行っていた。

患者の声

「ここは老人ホームにいるような感じ。私にとっては若い人が少なく、おじいさんやおばあさんと一緒にいる方が落ち着ける」「テレビ付きの床頭台がある。家具のようなもの」

積極的な取組など

- ・出入口が自動扉のため、施錠や解錠は詰所内のボタンで行われていた。鍵を使うことがなく、ずっと開いてずっと閉まる。このことは職員・患者双方の関係性にとって非常に重要だと患者の話しぶりで感じた。
- ・若い人の「携帯電話を使いたい」との希望を、時代の流れということで導入していた。
- ・モニターは、患者のプライバシーをそこなうため、コミュニケーションは看護師の足と会話で状況確認を基本とするとの姿勢は、なるほどと思った。

検討していただきたい事項

各種管理手数料の一律徴収について

各種管理手数料(月額 5,850 円、生活保護の場合月額 4,050 円)には様々な内容が含まれるようであった。管理手数料の中には、本来病院の事務の範囲として扱えるもの、地域移行推進室の精神保健福祉士の業務としてなされるべきもの、個別患者本人のその都度の希望と同意に基づいて行われるべき代理行為などが含まれている。これらを一律に同額で入院患者から徴収することには疑問がある。選択肢を設け、個別で対応する方向を検討していただきたい。(病院:管理手数料はすべての患者様から徴収しているのではなく、風病棟では自己管理が基本で、5 月末現在 32 名の入院患者中、希望する 5 名のみ手数料を徴収しています。また、本来病院の事務の範囲として扱えるものの内容については、今後も常に検討対象としていく予定です。/パターンとして、金銭の自己管理の方は無料。それ以外の生活保護以外の方は 5850 円。生活保護の方は 4050 円。の 3 パターン以外はない。)

すべてが閉鎖病棟であることについて

当日、病院側と意見交換したところ「(病棟の特徴にあわせて入院してもらっているため)医療保護入院の患者が各病棟に 2~16 名ずつ分散している」とのことだった。開放病棟にしたうえで出入口に職員を配置し、個別対応している病院もある。そのような方法はとれないのだろうか。(病院:残念ながら、現状では開放病棟の実現は困難です。外部からの危険物やアルコールの持ち込みを防ぐ等止むを得ない状況です。)

長期入院患者の退院支援について

患者から「退院は不安でいやです」「年もとっているので退院は考えていない」等の声がある一方、「退院したくても住む所がない」と言う患者にグループホームの話をすると興味深く聞いておられるということがあった。病棟訪問後にも病院側から、退院に消極的な患者に対しての関わりに人手がかかるとのお話があったが、まさにそのとおりなのだろうと感じた。退院促進事業の人手はもっと必要であろうし、退院後の住む場所等、課題がたくさんある。

ただ、ひとつの病院でもできることとして、PSW が病棟に滞在して患者に情報提供をする時間を増やすこと、地域の支援センターや作業所などから病棟に訪問してもらう機会や入院患者が地域の社会資源を体験利用する機会を増やすことなどがあるので、これらを実践していただくなど、今後も長期在院の患者の退院支援に積極的かつ継続的に取り組んでいただきたい。(病院:本年 8 月に開設を予定しているグループホーム(定員 6 名)や、計画中のデイケア等、今年も患者の退院促進に積極的に取り組んでいます。今後とも、長期入院患者の社会復帰には寄与したいと思っております。)

おたずね

西成に連携をとっている業者があるとお話でしたが、どのような業者なのでしょう。不動産屋ですか。何社くらいですか。(病院:西成地区への退院希望が少なくなく、提携とまではいきませんが、お世話になっている業者さんは 2~3 社あります。)

H21 大阪府精神保健福祉資料より

408 名の入院者のうち統合失調症群が 228 名(56%)、認知症など症状を含む器質性精神障害が 64 名(16%)、気分障害が 38 名(9%)。入院形態は任意入院 340 名(83%)、医療保護入院 68 名(17%)。在院期間は 1 年未満が 112 名(27%)、1 年以上 5 年未満が 140 名(34%)、5 年以上が 70 名(17%)、10 年以上 20 年未満が 54 名(13%)、20 年以上が 32 名(8%)。
(H21.6.30 時点)